

JA全農えひめ情報

みかんへど

2019

10
Oct.

Nov.

11



特集

令和元年産温州みかん
出荷販売対策と消費宣伝計画

めぐり〜ど

2019年10-11月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



今年もみかんが店頭に並ぶ季節がやってきました。「みかん」には今やいろいろな種類がありますが、明治時代から栽培され令和の時代も愛されている定番みかんは、やっぱり「温州みかん」でしょ。ちなみに「温州」は読みづらいですが、胸を張って「うんしゅう」と言ってくださいね。お隣中国の柑橘名産地・温州地方にあやかった名前だそうですよ。

●表紙：温州みかん
はら ふみ（イラストレーター）

※『めぐり〜ど』は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）する」という意味と「心をつなげる（Agreed）」という意味を込めています。

農の風景Vol.212

「2019愛媛みかん大使」を任命しました！

〈特集〉

令和元年産温州みかん 出荷販売対策と消費宣伝計画

高品質果実の計画出荷、需給調整対策、
効果的な消費宣伝活動を展開します。

JA全農えひめグループ7社 令和元年度役員体制

2019愛媛みかん大使 紹介

THE・ねっとわーく

ふるさと ESSAY VOL.280

祖父が教えてくれた
花を育てるということ

梅田 剛志さん

TOPIC NEWS

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉牛バラ肉（伊予牛「絹の味」）

JA全農えひめ

ホームページ
<http://www.eh.zennoh.or.jp>



- お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>
※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！
- JA全農えひめ「えひめの食」企画
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。
- ◆(株)えひめ飲料
<http://www.ehime-inryo.co.jp>
- ◆JAえひめアイパックス(株)
<http://www.iyokkora.jp/>
- ◆JAえひめフレッシュフーズ(株)
<http://fresh-ranran.jp/>
- ◆(株)ひめライス
<http://www.himerice.jp/>
- ◆JAえひめエネルギー(株)
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>
- ◆JAえひめ物流(株)
<http://www.jat-ehime.co.jp/>



▲(左から) 大内さん、岡山さん、岩崎さん、川内さん

「2019愛媛みかん大使」を 任命しました！

J A全農えひめは、8月26日、松山市のJ A愛媛で、愛媛みかん・伊予柑など愛媛県産かんきつをPRする「2019愛媛みかん大使」の任命式を開きました。

2019愛媛みかん大使に任命されたのは、川内日菜乃さん(21歳・松山市在住・大学生)、岩崎希望さん(20歳・東温市在住・大学生)、岡山春乃さん(19歳・松山市在住・大学生)、大内麻衣さん(20歳・松山市在住・大学生)の4人。愛媛みかん大使による活動は、1959年度から始めており、今年度の大使は61代目。今回は70人の応募があり、書類と面接による審査を経て大使4人が選ばれました。

任命式では、J A全農えひめ運営委員会の菅野幸雄会長が4人に任命状を渡し、「農家の思いとともに愛媛みかんを全国にPRしてほしい」と激励。前年の大使からタスキを受け継いだ4人は、「消費者の皆さんに愛媛みかんの魅力や美味しさを全力でPRをしていきたい」と笑顔で抱負を話しました。

大使4人は、11月上旬からの「愛媛みかん消費拡大キャンペーン」のほか各種イベントや販促活動、テレビ出演などを通じて、来年8月末までの1年間愛媛県産柑橘をPRします。応援よろしく願います。

※4人のプロフィールは7ページで紹介いたします



▲昨年度のみかん大使からタスキを受け継ぎました

特集

高品質果実の計画出荷、 需給調整対策、効果的な 消費宣伝活動を展開します。

令和元年産温州みかんの生産予想量は、農水省（6月11日公表）によると、全国で78万トン程度と見込まれ、豪雨や台風等自然災害の影響により生産量が伸びなかった平成30年産生産実績77万トンをやや上回ると予想されています。

日園連調査の生産予想量（9月1日時点）においては、全国で67万7,791トン（前年比96%、29年比101%）、愛媛県は11万8,400トン（前年比104%、29年比98%）で、適正生産量（全国78万トン、愛媛12万2,510トン）をやや下回

る予想となっています。今後は前年度に引き続き豪雨災害からの復旧、樹勢の維持・回復及び、隔年結果の是正にむけた適正着果対策を徹底し、高品質果実生産対策に取り組むことが重要です。

露地みかんの品種別の全国生産予想量は、日園連（9月1日時点）の調査によると、極早生10万7,911トン（前年比99%）、早生26万9,289トン（前年比98%）、普通28万2,762トン（前年比93%）となっています。

本年の露地みかんは表年廻りですが、産地によってバラツキがあ

り全国的には着花量はやや少ない状況となりました。生理落果は一次落果は多めでしたが二次落果は少ない傾向にあり、昨年に比べて生産量はやや下がるもののある程度確保されている状況です。

極早生みかんの生産量は、前年をやや上回る予想となっており、早生みかん以降の販売を有利に展開するためにも、今後の栽培管理の徹底により、高品質果実の生産に力を注ぐことが重要です。また、全果協かんきつ部会で協議決定した新たな「極早生みかん対策」において、30年から令和2年までの3カ年間で、改植等による面積10%削減の目標の必達が重要です。

早生以降については、生産量は前年を上回る状況となっていますが、近年出荷計画と実績との乖離がみられることから正確な出荷計画の策定と、市場別の販売動向を把握した出荷に努めるとともに、気象災害等により数量の減少が発生する場合は迅速な産地情報の発信が重要です。

また、11月下旬の恒常的な売り悩みとともに、12月中旬以降の供給過剰による荷動きの停滞・価格低迷を回避するためにも、令和元年産露地みかんの出荷販売にあたっては、高品質果実の出荷を基本に出荷時の品質基準の遵守や計画出荷に努めるとともに、市場価格の維持を目的とした果実需給調整対策事業及び一般消費者を対象とした消費宣伝事業を有効活用し、次年度につながる販売対策が必要です。



販売具体策

〔品種別対策〕

●極早生みかん

極早生の販売は10月末終了を徹底します。ただし、やむを得ず11月に出荷するものについては、確実に糖度11度以上の品質が確保できるものに限定し早期に出荷を切り上げます。低品位果実の市場出荷自粛、県域の価格維持対策として下等級品の市場隔離を図るため加工誘導対策事業（※）を実施するとともに有効活用します。

（※11月10日までに1,000トンを対象として実施する）

●早生みかん

早生の販売開始にあたっては、市場残荷量等の販売状況や品質状況を勘案したなかで販売開始します。11月下旬の恒常的な売り悩みを回避するため市場別の販売状況を勘案し販売先の需要に応じた出荷に努めるとともに、スムーズな品種の切り替えを図ります。また、日量出荷量の平準化の徹底を図

り、祝祭日・休市明け及び、11月7日は平常時の20%増以内に抑えます。県域の価格維持対策として下等級品の市場隔離を図るため加工誘導対策（※）を実施するとともに有効活用します。

（※1月31日までに4,000トンを対象に実施）

●普通温州みかん

12月中旬以降の需要の落ち込みに対応すべく、自主調整を含めた機動力のある出荷計画を実施します。販売店では年末・年始無休営業が常態化し、消費の平準化が進んでいることから需要量に応じた出荷を実施するとともに、年内に無理した出荷を行わずに年明け販売も視野に入れた出荷計画を策定します。また、年明け販売分は、品質低下のないように貯蔵管理の徹底を図ります。

果実需給調整対策事業を1月末まで継続実施します。

●各品種の共通対策

精度の高い出荷計画の策定と遵

守及び産地状況の迅速な情報発信を行います。また、品質・階級基準を厳守するとともに低品位果実は加工仕向け等の市場隔離を行います。品種・系統の品質特性を踏まえた適期出荷を徹底し、早生の販売開始は、基本的に11月からとし極早生から早生への切り替えを明確にします。

11月～12月10日における水曜日の販売分は出荷停止とします。

★対象日…11月6日・13日（休市）・20日（休市）・27日（休市）・12月4日（休市）の合計5回

全果協10地域市場出荷計画の旬別前年比を指標として出荷計画を樹立するとともに、選果場ごとの出荷状況を的確に把握し、市場出荷残量を踏まえた計画的な出荷を行います。また、生産指導部署との連携を密にし、選果・選別・出荷予措の徹底と、10地域市場出荷計画を基準として、市場ごとに残荷量・未仕切等の販売状況を加味した出荷量を調整します。

需給調整に基づいた適正出荷量

と特別出荷調整の対象期間（11月中下旬）におけるJA別の出荷量を遵守するとともに、長期取引契約数量を必達します。

緊急需給調整特別対策事業が発動された場合は、事業実施方針に基づき価格下落の主因となる恐れのある果実を加工原料に仕向けます。

表1 〈品質基準〉

出荷時期	糖 度	酸 度
9月	9.0度以上	1.0%以下
10月	10.0度以上	1.0%以下
11月以降	11.0度以上	0.9%以下

※市場到着時目標とし、全国連の品質基準に準ずる

【階級基準】

出荷階級は2L・S級とします。

【緊急時の対策】

「緊急需給調整特別対策事業」が発動された場合は全果協及び県果協の実施方針に基づき実施します。市場価格の急落が懸念され、かつ市場在庫が増加傾向にある場合は、果実販売部会・販売情勢検討会等で協議し出荷調整等の緊急対策を実施します。

消費宣伝計画

愛媛県産柑橘の販促および知識に習熟したSPレディによる販促活動を行い、さらなる愛媛みかんファンの獲得に努めます。販売力の高い店舗の設定や販売時期に強弱をつけるなど、販促のあり方について十分に精査して実施します。また、店頭販促を行うSPレディの研修会や産地訪問等を実施すること、愛媛県産柑橘に対する知識をさらに深め、消費者の五

感を通じて愛媛みかんの魅力を訴え、消費拡大を図ります。

愛媛みかん大使による消費宣伝・みかんキャンペーンについては、事業の内容を十分精査したうえで、効果的な活動を計画・実施し、愛媛みかんのPR・知名度向上を図ります。また、幼稚園児および保護者を対象とした「はじめてのみかんむき企画」等の食育活動を実施し、子どもたちが幼少期からみかんを食べる機会・環境を提供し、将来の消費を担う子ども

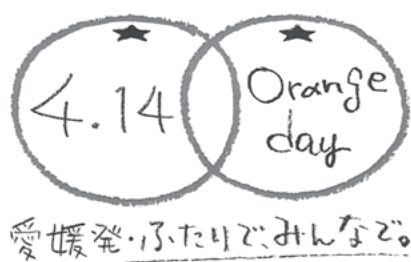


▲2019愛媛みかん大使の皆さん

たちに愛媛みかんの魅力発信・消費拡大を目指します。

●全国果実生産出荷安定協議会

国産果実に対する消費者ニーズが高品質・少量多品目化するなか、「食生活指針」や「食事バランスガイド」に基づいた「日本型食生活」を推進し、果実摂取（「毎日くだもの200グラム運動」）の重要性の訴求による普及啓発、安全・安心な国産果実全体のイメージアップや話題性の醸成・提供、果物の持つ栄養・効能・機能性の周知および全国の果樹産地と一体となった取り組みを行い、国産果実全体の需要拡大を図ります。ま



4月14日は愛媛発祥の「オレンジデー」です。

JA全農えひめ

た、全国段階・県段階・農協段階の役割分担を明確化し、全国の果樹産地が協調した事業展開を図り、より効率的・効果的な取り組み内容とします。

●えひめ愛フード推進機構

消費者に「オレンジデー」、「オレンジロード」の認知度向上を図るとともに、愛媛県産かんきつ全体のPR及び消費拡大を図るため、効果的なイベントを計画・実施します。



▲首都圏でのサンプリング・販促のほか、イベント等に参加し、愛媛みかんのシーズン到来をアピール

愛媛みかんの売り場確保・販売数量・売り上げアップを図るため、

●店頭試食宣伝

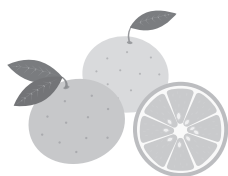


▲飛鳥乃湯泉前や松山空港でオレンジデーをPR

店舗の状況にあった販促を実施し、より多くの消費者に愛媛みかんのPRを行います。また、シーズンを通じて愛媛県産青果物の売り場を確保していただける「愛媛協力店」を設定し、愛媛県産青果物の情報発信と消費拡大を図ります。

●愛媛みかん大使による消費宣伝

今年で61代目となる愛媛みかん（いよかん）大使を任命し、県内外でのキャンペーン等を通じて、愛媛県産かんきつ類の消費拡大に向けたPRを実施します。また、みかんキャンペーンでは、東京・大阪等の大都市に大使を派遣し、各種イベントへの参加、マスメディア等を巡回訪問し、愛媛みかんの季節到来・キャンペーンの実施を周知するとともに、イベントの記事掲載等を通じた消費宣伝の相乗効果を図ります。



●食育活動事業



▲はじめてのみかんむき

今年で15回目を迎える、幼稚園・保護者等からも好評の「はじめてのみかんむき」企画を実施します。幼稚園児にみかんを自分でむく行為の啓蒙活動を行い、その保護者にもリーフレット等を配布することにより、健康情報の提供や幼稚園児の健やかな発育には果物が重要な役割を果たすことをアピールします。そして幼児期より日常生活の中でかんきつ類を食べることの習慣付けを行い、旬のおいしい「愛媛みかん」を印象付けて広範囲での消費拡大を図るとともに、愛媛かんきつ全体のPRを実施します。

●SPレディ組織強化事業

愛媛県産かんきつのより効果的な店頭試食宣伝販売を行うために、SPレディの組織強化を行います。温州みかん研修会（100人研修会）では、令和元年産かんきつ類の生育状況・作柄等の説明会を実施し、産地状況等も把握してもらい産地と一体感を持つて販売できる協力体制を強化します。また、本年度は2年に一度開催しているSPレディ産地研修会を実施し、収穫体験等を通じて産地への理解を深め、消費者への愛媛県産かんきつのさらなる魅力発信を図ります。



▲SPレディ産地研修会

JA全農えひめグループ7社 令和元年度役員体制

は令和元年度新任。

令和元年8月1日現在

(株)えひめ飲料		
役職名	氏 名	
代表取締役社長	山本 卓治	常勤
代表取締役専務	川田 永治	常勤
常務取締役	道上 久司	常勤
取 締 役	芝 亮介	常勤
取 締 役	菅野 幸雄	非常勤・JA全農えひめ運営委員会会長 JAえひめ中央
取 締 役	村田 彰三	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAにしうわ
取 締 役	山本 長雄	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAえひめ南
取 締 役	小越 慎介	非常勤・JA全農えひめ県本部長
取 締 役	富永 浩司	非常勤・(株)えひめフーズ代表取締役社長
常勤監査役	中村 康史	常勤
監 査 役	桑田 誠	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAおちいまばり
監 査 役	菊地 秀明	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA愛媛たいき
監 査 役	竹村 靖	非常勤・JA全農えひめ副本部長

JAえひめアイパックス(株)		
役職名	氏 名	
代表取締役社長	中原 一憲	常勤
常務取締役	森川 威久	常勤
常務取締役	中川 達也	常勤
取 締 役	山内 謙治	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA周桑
取 締 役	桑田 誠	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAおちいまばり
取 締 役	菊地 秀明	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA愛媛たいき
取 締 役	小越 慎介	非常勤・JA全農えひめ県本部長
監 査 役	山本 長雄	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAえひめ南
監 査 役	水本 益広	非常勤・JA全農監査主任者

JAえひめフレッシュフーズ(株)		
役職名	氏 名	
代表取締役社長	大津 満	常勤
常務取締役	宇都宮 誠	常勤
取 締 役	篠原 一志	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAうま
取 締 役	加藤 尚	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA西条
取 締 役	関岡 光昭	非常勤・JA全農えひめ副本部長
監 査 役	兵頭 仁志	非常勤・JA全農えひめ運営委員会副会長 JAひがしうわ
監 査 役	達川 青児	非常勤・JA全農監査主任者

(株)ひめライス		
役職名	氏 名	
代表取締役社長	松田 一人	常勤
常務取締役	武田 司	常勤
取 締 役	加藤 尚	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA西条
取 締 役	山内 謙治	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA周桑
取 締 役	菅野 幸雄	非常勤・JA全農えひめ運営委員会会長 JAえひめ中央
取 締 役	兵頭 仁志	非常勤・JA全農えひめ運営委員会副会長 JAひがしうわ
取 締 役	竹村 靖	非常勤・JA全農えひめ副本部長
監 査 役	菊地 秀明	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA愛媛たいき
監 査 役	水本 益広	非常勤・JA全農監査主任者

JAえひめエネルギー(株)		
役職名	氏 名	
代表取締役社長	峯本 耕典	常勤
常務取締役	宮田 研二	常勤
常務取締役	石川 忠司	常勤
取 締 役	篠原 一志	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAうま
取 締 役	菅野 幸雄	非常勤・JA全農えひめ運営委員会会長 JAえひめ中央
取 締 役	竹村 靖	非常勤・JA全農えひめ副本部長
監 査 役	水本 益広	非常勤・JA全農監査主任者

(株)えひめフーズ		
役職名	氏 名	
代表取締役社長	富永 浩司	常勤
取 締 役	山本 卓治	非常勤・(株)えひめ飲料代表取締役社長
取 締 役	村田 彰三	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAにしうわ
取 締 役	小越 慎介	非常勤・JA全農えひめ県本部長
監 査 役	中村 康史	非常勤・(株)えひめ飲料常勤監査役

JAえひめ物流(株)		
役職名	氏 名	
代表取締役社長	高井 雄二	常勤
常務取締役	白石 啓司	常勤
取 締 役	越智 敬一	非常勤・JA東予園芸
取 締 役	桑田 誠	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAおちいまばり
取 締 役	菅野 幸雄	非常勤・JA全農えひめ運営委員会会長 JAえひめ中央
取 締 役	菊地 秀明	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JA愛媛たいき
取 締 役	村田 彰三	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAにしうわ
取 締 役	山本 長雄	非常勤・JA全農えひめ運営委員 JAえひめ南
取 締 役	関岡 光昭	非常勤・JA全農えひめ副本部長
監 査 役	川田 永治	非常勤・(株)えひめ飲料代表取締役専務
監 査 役	達川 青児	非常勤・JA全農監査主任者



私たちが「2019愛媛みかん大使」です！

愛媛県産柑橘の魅力を全国にPRします！ 応援よろしくお願いいたします！



かわうち ひなの
川内日菜乃さん

(松山市在住・大学生)

【抱負】全国トップクラスを誇る愛媛みかんを自らの手で全国にPRできることを大変嬉しく思っております。様々な年代の方に声をかけ、一人でも多くの人に生産者の方々の熱い思いとみかんのおいしさや魅力を伝えられるよう頑張ります。

【趣味】旅行

【特技】フルート



いわさきのぞみ
岩崎 希望さん

(東温市在住・大学生)

【抱負】様々な柑橘のおいしさを伝えると共に、生産者の方々の思いを消費者の方々に届け、愛媛のみかんを通して、愛媛の魅力をたくさん知って頂けるよう努めてまいります。小さな頃から大好きな愛媛のみかんを全力でPRします。よろしくお願いいたします。

【趣味】カフェ巡り

【特技】ダンス



おかやま はるの
岡山 春乃さん

(松山市在住・大学生)

【抱負】歴史ある愛媛みかん大使に任命いただき大変嬉しく思います。大好きな地元愛媛で作られたみかんのおいしさやそのみかんを作る農家の皆さんの思いが詰まった愛媛みかんの魅力を精一杯お伝えしていきます。1年間よろしくお願いいたします。

【趣味】カフェ巡り、料理

【特技】卓球



おおうち まい
大内 麻衣さん

(松山市在住・大学生)

【抱負】柑橘そのものの魅力はもちろんですが、普段消費者があまり目にする事のない、生産者の方々の苦労や愛情、こだわりなど、愛媛の柑橘の魅力を伝えていき、これからしっかりと自分の役割を果たしていきたいと思います。

【趣味】食べること

【特技】料理



▲8月26日に行われた任命式。JA全農えひめ菅野幸雄会長（中央右）と小越慎介県本部長（中央左）を囲んで

♡♠♣♦♡ 今後の予定 ♡♠♣♦♡

10月16日 愛媛県園芸大会

11月5日~9日 「愛媛みかん消費拡大キャンペーン」
(東京・大阪)

1月 「愛媛いよかん全国横断キャンペーン」
(京阪神・首都圏・札幌)

4月14日 「オレンジロード」関連イベント

2020年8月末まで各種イベントや販促・試食宣伝活動、マスメディアへの出演等を行います。

■生活資材課

J A 愛媛農畜産物消費拡大運動

J A グループ愛媛農畜産物消費拡大運動推進本部は、令和 2 年 1 月まで「2019 J A 愛媛農畜産物消費拡大運動」に取り組んでいます。歯と歯ぐきの健康が気になる方に「8020 菌」を使用したヨーグルトをセットにした「らくれんセレクションセット」(2,100 円)、らくれん製品から厳選したバラエティーセットの「牧場の風セット」(2,300 円)、クリームチーズサンドとレアチーズケーキをセットにした「クリームチーズセット」(2,400 円)、牛乳屋さんが作ったレアチーズケーキをセットにした「レアチーズケーキセット」(2,400 円)の 4 アイテムです（価格は全て税込価格）。

県内産を中心とした

「畜産加工品」愛用も推進中！

J A 全農えひめ生活資材課では、令和 2 年 2 月末まで、愛媛県内産牛・豚肉の「食肉加工品」の取扱い・消費拡大を推進中です。

取扱商品（セット）は、伊予牛「絹の味」、「ふれ愛・媛ポーク」の精肉セット各 4 アイテム、レトルトのカレー、愛媛県産豚肉を使用した「豚バラやわらか角煮」、「豚ロース豚丼」、国産豚肉を使用したウインナー、さらには塩、キムチ味の「豚ホルモンセット」などの多彩なアイテムをご用意しております。

ご注文・お問い合わせ：

お近くの J A または J A 全農えひめ生活資材課（TEL 089-905-2715）

■生活資材課

J A 石碑大展示ご予約会

県内 J A と J A 全農えひめ生活資材課は、10 月から 12 月末まで、「秋期石碑予約推進キャンペーン」を実施中です。

特に 11 月 22 日から 24 日までの 3 日間は、実際に触れて・見比べて納得して選んでもらえるよう、(株)イフイ本社（松山市石手寺前）をはじめ、県内 8 か所の特設展示場で、J A 組合員限定の「J A 石碑大展示予約会」を実施します。

展示会ご来場の方にはもちろん粗品をプレゼントするほか、30 万円以上石碑・仏壇をご成約の方には、記念品をご用意しております。多数のご来場をお待ちしています！

〈会場〉 株式会社イフイ

- 本 社：松山市石手 3 丁目 6-34 （電話）089-977-8000
〈対象 J A〉 J A えひめ中央・J A 松山市
- 四国中央店：愛媛県四国中央市妻鳥町 1199-1 （電話）0896-22-3788
〈対象 J A〉 J A うま・J A 新居浜市
- 西 条 店：西条市周布 727-1 （電話）0898-65-6825
〈対象 J A〉 J A 西条・J A 周桑
- 今治営業所：今治市阿方字山之間甲 373-1 （電話）0898-65-6825
〈対象 J A〉 J A おちいまばり
- フライブルク店：松山市朝美 1 丁目 6-7 （電話）089-917-9080
〈対象 J A〉 J A えひめ中央・J A 松山市
- 大 洲 店：大洲市新谷乙 416-1 （電話）0893-25-1185
〈対象 J A〉 J A 愛媛たいき・J A にしうわ・J A ひがしうわ
- 八 幡 浜 店：八幡浜市保内町宮内 2 番耕地 82-1 （電話）0894-36-3353
〈対象 J A〉 J A にしうわ
- 宇 和 島 店：宇和島市並松 2 丁目 3-15 （電話）0895-23-0518
〈対象 J A〉 J A えひめ南・J A ひがしうわ

展示会に関するお問い合わせ・来場申込みは、最寄りの J A にご連絡をお願いします。

■株式会社えひめ飲料

おかげさまでポンジューズ50thキャンペーン ~これまでも、これからも~

(株)えひめ飲料は、「ポンジューズ」誕生50周年を記念し、「おかげさまでポンジューズ50thキャンペーン~これまでも、これからも~」を実施中です。応募期間は9月16日から11月15日まで。

キャンペーン対象商品は、9月16日にリニューアル発売した「ポンジューズ800mlペットボトル」。同商品のバーコード1枚1口をハガキに貼り応募すると、抽選で500名様にオリジナルクオカード(500円分)1枚と愛媛みかん5kgが当たります。

同商品の売上の一部を西日本豪雨災害復興支援の義援金として愛媛県に寄付します。

また、「ジュースのある暮らし」をテーマに、インスタグラムに投稿してもらうフォトコンテストも開催。厳正な審査の上、5名様に「ポンジューズオリジナルバイク」を、選定にもれた方の中から抽選で500名様に同商品を1ケースプレゼントします。詳細は、(株)えひめ飲料ホームページの「ポ



(株)えひめ飲料は、9月18日に県庁を訪れ、中村時広知事に50周年事業について報告しました。
左から 道上久司常務、中村知事、山本卓治社長。

お問い合わせ先 POMキャンペーン事務局

TEL089-923-1529

受付時間：10：00～17：00（土・日曜、祝日除く）

えひめ飲料

ンジューズ50周年特設サイト」をご覧ください。

■株式会社ひめライス

令和初だぜ♪新米キャンペーン

(株)ひめライスでは、8月23日から10月31日まで、令和初の新米を記念して「令和初だぜ♪新米キャンペーン」を実施中です。ひめライス対象商品についている「応募シール」または、米袋左上に付いている「ひめマーク」を切り取り、1kg以上を1枚1口として応募すると抽選で合計900名に伊予牛「絹の味」や「ふれ愛・媛ポーク」「紅まどんな」といった豪華賞品が当たります。応募方法など詳細は、販売店のポスター・リーフレット、(株)ひめライスのホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 TEL089-960-3331

受付時間：10：00～17：00（土・日曜、祝日除く）

問い合わせ期限：令和元年11月29日（金）まで

ひめライス



ふるさと ESSAY

Vol.280



祖父が教えてくれた 花を育てるということ

皆さん初めまして、梅田剛志です。

現在、ラジオ局FM愛媛のお昼の番組「Groovy Radio Caravan」を担当しております。出身は熊本県で、昨年まで東京で会社員をしながら芸能活動をしておりましたが、縁があつて今年の1月に愛媛に来ました。今月から3号連続でこのコーナーを執筆させて頂きます。

今はラジオパーソナリティをしています。この仕事は自分自身のパーソナルをさらけ出して伝えていく仕事だと考えております。そこで今回は私のパーソナルを形成する上で幼少期に最も影響を与えてくれた祖父から学んだことをお話しさせて頂きます。

幼少期、両親が共働きで祖父母にずっと面倒を見てもらっていました。2人はとても仲が良く、朝早くから起きて畑仕事をし、夕方からは僕ら孫たちのご飯の用意をしたり、一緒に遊んでくれたりしました。花や農作物や動物を育てることが大好きで裏庭にはた

くさんの花、畑ではキャベツやネギ、人参にトマトなど季節ごとに色々な農作物を育てていました。

小学校2年生の時、夏休みに朝顔を育てるという宿題ができました。プラスチックの鉢植えをそのまま自宅に持ち帰り、始業式に育てた朝顔を持ってくるという宿題で、正直「面倒だな」と思いながら、祖父の裏庭のハウスの一角に置かせてもらいました。まずは自分でやってみよう。朝夕にお水を上げて、日中は外に出して陽に当て、夜になるとハウスに戻していたのですが、5日目頃から面倒臭くなりお水も上げたり上げなかったり、外に出すこともしなくなりました。2週目に入ると芽が出て茎も伸びてきたのですが、茎がよれて葉が少し茶色くなっていました。このままでは枯れてしまうと怖くなり、祖父に泣きつきました。祖父はそれを見越していたかのように（熊本弁で）「植物も食べ物なんでもそ

梅田 剛志

TSUYOSHI UMEDA

■プロフィール■

ラジオパーソナリティ、司会者、イベントMC。
1983（昭和58）年7月14日、熊本県美里町出身。大阪芸術大学放送学部卒業後、東京を中心に活動。現在は松山市に居を構える36歳、血液型はA型。
小さい頃より出身地・美里町の日本一長い3,333段の石段で足腰を鍛え、剣道、伝統派空手、フルコンタクト空手、総合格闘技を嗜む。格闘漫画が大好きで、男臭さやキャラクターの熱い思いを代弁する自称「格闘漫画ソムリエ」。野球では松井秀喜選手の取材経験を持つ巨人の大ファン。日本唐揚協会認定カラゲニスト、温泉ソムリエ、TVゲーム大会受賞など、趣味・特技は広範囲にわたり、その興味のベクトルがパーソナリティ業に存分に発揮されている。
2019年4月より、FM愛媛「Groovy Radio Caravan」（月～金曜13：30～16：55）、月・火・金曜担当。番組内「J A全農えひめ presents Support Music」コーナー（毎週月曜14：10頃～5分間）では、人生で支えられた1曲とそのエピソードを募集し、採用者に県産農産物をプレゼントしている。
※メッセージ送付先 E-mail：grc@joeufm.com
※ツイッターでは「#grc797」で番組情報を紹介。メッセージやリクエスト曲をつぶやくと生放送中に紹介されるかも！



▲火曜日のパートナー窪田ゆうこさんと

うばってん、育てるには愛情と時間をたくさんかけんといかんよ。おじいちゃんが手伝うけんよう見ときなつせ」と、毎日マンツーマンで見てくれました。朝一番に朝顔を水を上げ、外に出し、日光浴をさせ夕方ハウスに戻す際にまた水を上げ、土の柔らかさを毎日触って確認して、茎や葉の状態がよくないと思うと少量の肥料を与え、虫がついていないかいつも目を光らせ、驚くほど丁寧丁寧に手をかけて育ててくれました。すると1か月くらいで立派な紫色の花が咲きました。

嬉しくて嬉しくて「やった!じいちゃん咲いたよ!」と興奮していると祖父は僕を諭すように「いいかい?花を育てるには時間がかかるとよ?これは花だけじゃなくじいちゃんが育てるキャベツも人参もみんなそう。でも愛情をかけて育てよつたら必ず応えてくれるけんね」と教えてくれました。夏休み明けにその朝顔を持つていくと、どの朝顔よりも立派で大きくて綺麗で凛としていました。そして全校集会で一番大きな朝顔を育てた生徒として表彰されました。誇らしくて、嬉し



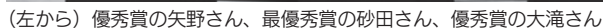
くて、いの一番に祖父に報告に行くこと満面の笑みで一緒に喜んでくれました。『育てる』には愛情をたくさんかけること、そしてよく観察し、時に我慢強く見守り、助けを求められたら答えを与えるのではなく答えを探せるように導くこと。朝顔を育てるという経験を通して、たくさんの教えと喜びを与えてもらったことは、祖父が亡くなった今でも自分の大きな支えとなっています。

そんな私が担当する番組「Groovy Radio Caravan」、令和を迎えようとしている4月1日からスタートしました。最新の音楽情報や愛媛のLIVE情報などを中心にお伝えしております。番組の面白い所は月々金曜まで男女のペアで放送しているのですが、日替わりでパーソナリティが変わります。曜日が変われば起きる化学反応も異なり、毎日お届けしている音楽もトークの内容も毎回新鮮です。ゲストもアーティストから映画監督まで本当に多彩です。エミフルMAsAKI内のFM愛媛のスタジオ「エミスタ」から生放送でお届けしております。是非お立ち寄りください!次号は熊本出身の私が青春時代に最も衝撃を受け涙した1996年夏の想い出。第78回 全国高等学校野球選手権大会決勝 松山商業高校 対 熊本工業高校の試合を振り返り、愛媛とのご縁をお話しさせていただきます。

最優秀賞にJ A えひめ南の砂田英樹さん

大会は5回目。県内JAのTAC関係者ら57人が参加しました。8JAのTAC8人が「出向くTAC活動の強化および労働力支援や先進営農技術の導入による農業生産の維持拡大」をテーマに、一人15分で活動事例を発表しました。

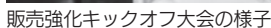
生産者所得増大や栽培面積の拡大、地域活性化への貢献などが評価されました。



令和元年産さといも「伊予美人」出荷スタート

令和元年産のさといも「伊予美人」は栽培面積165.7ha（前年比116%）、出荷量は4,035トン（同145%）を見込んでいます。今年の春先には雨が少なく、生育が遅れていましたが、梅雨入り以降回復。今年も柔らかくておいしい「伊予美人」に仕上がっています。出荷は12月をピークに来年4月まで続きます。

さといも「伊予美人」の選果をするスタッフ



📷 多収品種の契約栽培米を拡大

圃場にのぼり立て地域にPR

J A全農えひめでは、中食や外食が増えている現状の中、不足している業務用米需要に対応すべく、多収米品種による契約栽培への取り組みを行っています。さらに、業務用実需者等と結びつけることによって、作況や相場に左右されない安定した生産者の所得増大に繋がります。

県内では多収米品種「あきだわら」を中心に平成30年産より本格的に栽培しています。J A全農えひめ食糧生産課では、各地に試験圃場を設定して、生育ステージごとの調査によるデータの集積や県版栽培暦の作成、講習会や多収米コンテストの開催などを行っています。その結果、県内での令和元年産の作付面積は、30年産の46 haから73 ha（7 J A）へと拡大。収穫した米は、回転寿司チェーン店や炊飯事業者などの大手実需者に納入します。

今年産からJ Aえひめ中央管内の契約栽培米の圃場19・1 haでは、「全農契約栽培米」と書かれたのぼりを立て、地域にアピールしています。昨年から「あきだわら」を栽培するJ Aえひめ中央の八木久夫さん（67）は、契約栽培することで「自分の作った米の売り先が分かることによって、『この米は美味しい』とお客さんたちに言ってもらいたい、と営農意欲が湧く。安定的に収入が得られるのも嬉しい」と話していました。同J Aでは、10月20日頃まで多収米の刈り取りが行われます。

J A全農えひめ食糧生産

課では、「今後も、J Aと連携をとりながら生産者へ栽培技術の支援を行い、面積拡大を目指す。また、複数年契約も視野に入れ、生産者の所得の長期安定を図っていききたい」としています。



八木さんとのぼりの立つ収穫間近の圃場

📷 新CMでPR！

愛媛の新しいお米「ひめの凜」デビュー！

今年産から販売を開始する愛媛県の新しいお米「ひめの凜」を一人でも多くの県民に知ってもらうと、J A全農えひめ食糧生産課と愛媛県米麦振興協会では、新CMを8月12日から県内で放映しています。女の子が、食卓を囲んで炊き立てのごはんを食べるシーンや、おにぎりを頬張りながら勉強を頑張る姿などを映し出し、炊きたてはもちろん、冷めても美味しいといった「ひめの凜」の魅力を伝えていきます。

愛媛県が平成14年から開発を進めてきた「ひめの凜」は、夏の強さに強く、倒れにくい、大粒でしつかりした噛みごたえと華やかな香りや上品な甘みが特徴です。



放送中の「ひめの凜」新CM

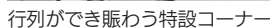
 豚コレラ侵入防止に関する要請書を提出

同協議会の酒井栄一会長、森田恭章副会長、田中幸浩副会長とJA全農えひめの関係者が訪問しました。

同協議会は「一日も早く安心して養豚経営に専念できるよう支援をお願いしたい」と強く訴えました。



リジェール松山 焼肉の日イベント



同イベントは、「焼肉の日」を通じて愛媛県産ブランド肉の美味しさをPRし消費拡大につなげようと毎年実施しています。

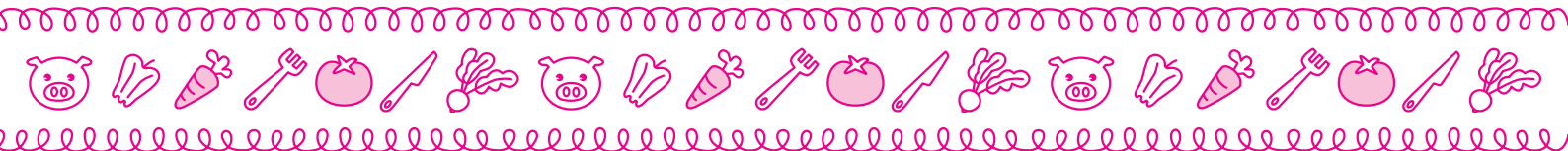
JA全農えひめ畜産部は、「こうした肉の日イベントを通じて、愛媛の誇るブランド肉の美味しさを一人でも多くの方に知ってもらい消費拡大につなげたい」としています。

フレッシュ卵カップジュニアバドミントン大会県予選

前日には、バドミントン教室を開催。2012年ロンドンオリンピック、バドミントン女子ダブルスで銀メダルを獲得した藤井瑞希さんなどを講師として迎えました。

同社は、参加賞のほか各クラス優勝者全員に「紅花卵卵」など卵30個と愛媛県産にこまる2kg、たまごかけごはん専用醤油が入った

優勝した河野さん（右）と石川さん



📷「いよつこ」親子農業体験ツアー

親子で大根や梨の収穫体験を満喫

J A えひめ アイバックス(株)フアーマーズマーケット「いよつこ」運営協力会は、食農教育活動の一環として、8月24日、西予市野村町大野ヶ原と伊予市中山町を回る「親子農業体験ツアー」を実施しました。

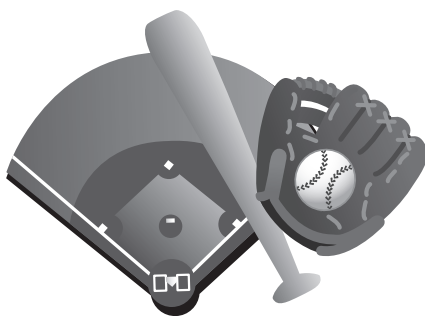
このツアーは、収穫体験等を通じて農業や食の大切さ、地元農産物の美味しさや魅力を伝えようと毎年開催しており、今年で11年目。今回のツアーには、伊予市近郊の親子11組28人が参加。標高1,000mを超える四国カルスト・西予市野村町大野ヶ原の黒河高茂さんの畑で、大根を収穫しました。伊予市から参加した上村美花さんは、「大きい大根がたくさん採れて楽しかった」と笑顔で話してくれました。一行は、伊予市中山町でも梨狩りを楽しみました。



大きな大根が採れ、喜び子どもたち

📷(株)えひめ飲料が宇和島東高校野球部に贈呈

がんばれ球児！ポンジュースを差し入れ激励



(株)えひめ飲料は、8月6日に開幕した第101回全国高等学校野球選手権大会に愛媛県代表として出場した宇和島東高校野球部に、ジュース10ケースを贈りました。

同社大阪営業所の門間伸一所長が8月5日、神戸市の同校宿舎を訪ね、同校野球部の浦辻規幸副部長にジュースを手渡し、「健闘を祈っています」と激励。浦辻副部長は「ありがとうございます。頑張ります」と応えました。

贈呈したのは、「ポンジュース」(350ml 24本入)10ケース。同社は、毎年、春の選抜高校野球大会と夏の甲子園出場校にジュースを贈り、地元代表の球児を応援しています。

📷(株)えひめ飲料が松山東交通安全協会に贈呈

交通安全運動に「POM塩と夏みかん」を役立てて

(株)えひめ飲料は、秋の全国交通安全運動(9月21日から9月30日まで)の啓発活動に役立ててもらおうと、8月30日、「POM塩と夏みかん」(200ml紙パック)1,000パックを松山東交通安全協会に贈りました。

贈呈商品は、交通安全運動期間中に、松山東警察署管内で実施される「交通安全茶屋」や「高齢者教室」などの各種イベントで、交通事故防止のチラシや反射グッズとともに配布されました。

松山市安城寺町の(株)えひめ飲料本社で行われた贈呈式では、同社の川田永治専務が、「期間中の熱中症対策に役立ててください」と同協会の清水一郎会長に商品と目録を手渡ししました。

同社によるPOM製品の贈呈は、社会貢献活動の一環として2010年から毎年実施しています。



清水会長(右)に商品を贈呈する川田専務

「あぐり〜ど」が届いて封を切ると、なんとすがすがしい表紙絵にびっくりしました。今月の素材、長なすと並んで今晚のメニューがすぐ決まりました。これからも楽しみにしていますね。
(八幡浜市・岡 葉子さん)

紅まどんなの缶詰があることを初めて知りました。とても贅沢な缶詰ですね。でも、美味しい紅まどんなが一年中食べれるなんて良いですね。
(西条市・瀬川 憲子さん)

「やっぱり、牛が好き」を読んで。重労働が多い畜産業界に飛び込んだ若手女性農家。生き物相手の仕事でこれからの大変なことが続くと思います。周りの先輩たちに助けてもらいながら地域を引っ張っていく存在になってほしい。九州勢が強い共進会で、愛媛の力を見せつけてほしいです！
(松山市・竹内 礼子さん)

えひめ飲料東京工場新ライン稼働開始のニュースを読んで。より美味しいジュースを作ることができるということで、非常に楽しみです。是非頑張って販売量の増加に励んでください。
(西予市・井上 次恵さん)

私は産直めぐりが大好きで、ドライブがてらに息子と一緒によく行きます。香川県内だけではなく、愛媛県にもよくお邪魔します。地域によって珍しい食べ物、野菜もあり、いろいろ見て回り、いっぱい買って帰ります。楽しいし、認知症予防に役立っています。
(香川県・坂田 由紀子さん)

愛媛県東温市には、JA全農えひめが運営している「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」があります。ぜひ、愛媛に来られた際にはお立ち寄りください♪

令和元年度の新規採用職員紹介の抱負を拝見していると、明るい人材が多く入会していて、これからが楽しみです。頑張ってください！
(西条市・玉井 陽子さん)

お知らせ

読者名簿更新について

JA全農えひめ情報誌「あぐり〜ど」は、愛媛県内JAの役員（非常勤理事・監事含む）・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

読者名簿の更新を随時行っています。名簿更新により、新たにお届けする方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

前回6-7月号から表紙のイラストが変わりました。爽やかなナスのイラストにおハガキでもたくさん感想をいただきました。イラストの担当は、引き続きはらふみ先生です。

どこか懐かしい日本の風景を描いたこれまでの表紙も大変好評だったのですが、ぱっと目を引くデザインにしたいと思い、一つの農畜産物をテーマに「ポップ」で「可愛い」表紙にしました。今回のテーマは「温州みかん」。よく見たら、みかん大使もいますね！12月号は何の素材がテーマかお楽しみに♪
(有紗)

今月のクイズ

（株）えひめ飲料の「ボンジュース」は今年で生誕、何周年でしょうか。

「〇周年」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2019年11月15日（当日消印有効）

発表

「あぐり〜ど」12月号で発表します。

当選者発表

8-9月号の答えは「TAC（タック）」でした。たくさんのお便りありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。
仙波美和子さん（四国中央市）
村越久美子さん（今治市）
村上 知子さん（松山市）
田岡 栄子さん（松山市）
栗原 佑季さん（松山市）
戸嶋 舞さん（松山市）
田中 克也さん（松前町）
川上 祐子さん（東温市）
成田シゲ子さん（伊方町）
長下 政恵さん（宇和島市）

NOW NOW

COOKING

今月の素材

牛バラ肉 (伊予牛「絹の味」)



ほどよくジューシーな脂身と
コクと旨味の赤身が奏でる味のハーモニー



▶ (右側) 牛バラとパプリカのリンゴ酢サラダ、(左側) 牛バラと卵のふわふわ炒め、(後) 牛バラブルコギ風からし味噌丼

指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 実習科 主任 門田 尚人先生

牛バラブルコギ風からし味噌丼

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約636kcal

牛バラ肉 (スライス) 280g
キャベツ (短冊切り) 小1/4個
玉ねぎ (くし切り) 1/2個
人参 (千切り) 1/4本
青ねぎ (3cm切り) 3本
サラダ油 大さじ1

【合わせタレ】

コチュジャン 60g
ニンニク (チューブ) 小さじ1
ゴマ油 大さじ1
黒コショウ 少々
酒 60cc
みりん 60cc
砂糖 40g
ご飯 2合分

〈作り方〉

- ① ボウルに牛肉 (3cm切り) と④を混ぜて揉みこむ。
 - ② 野菜4種をサラダ油をひいた鍋で炒め、①を加えて蓋をして煮込み、火を止めて味をなじませる。
 - ③ 丼にご飯を盛り、②のをのせる。
- ※コチュジャンを甜麺醤 (テンメンジャン) に変えると味がまろやかになる。

牛バラとパプリカのリンゴ酢サラダ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約215kcal

牛バラ肉 (スライス) 160g
玉ねぎ (薄切り) 1/2個
セロリ (薄切り) 1本
パプリカ黄 (薄切り) 1/2個
三つ葉 (又は、水菜) (3cm切り) 1束

【牛肉下味タレ】

塩・コショウ 少々
ゴマ油 小さじ1
砂糖 少々

【和えタレ】

リンゴ酢 大さじ2
砂糖 大さじ1
塩 少々
ニンニク (すりおろし) 小さじ1/4
薄口醤油 小さじ1/3
パプリカ黄 (すりおろし) 1/2個

〈作り方〉

- ① 牛肉はサッと湯通し、ひと口サイズに切り、④に絡めておく。
- ② 切った野菜は水にさらす。
- ③ ⑥のタレを合わせる。
- ④ ②の水気を切り、①と合わせ、③をかける。

牛バラと卵のふわふわ炒め

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約409kcal

牛バラ肉 (スライス) 200g
塩・コショウ 適量
トマト (くし切り) 1個
卵 4個
ニラ (3cm切り) 2本
サラダ油 適量

【卵合わせタレ】

塩・コショウ 少々
砂糖 大さじ1

【かけタレ】

生姜 (チューブ) 小さじ1
酒 大さじ2
砂糖 50g
濃口醤油 30cc
オイスターソース 15g
鶏ガラスープ 100cc
水溶き片栗粉 適量

〈作り方〉

- ① ひと口大に切った牛肉に塩・コショウし、さっと炒める。
- ② 卵を割り、④で味つけ、溶く。
- ③ 深めのフライパンでサラダ油を熱し、②を大きく混ぜ炒め、①とトマト、ニラを加え炒め、器に盛る。
- ④ ③のフライパンに⑥を沸かし、水溶き片栗粉でとろみをつけ、③にかける。



2019年、ポンジュースは果汁100%になってからおかげさまで50周年を迎えることができました。これまで育てていただきましたすべての方に感謝を申し上げます。



9月16日発売!
800ml ペットボトル

ポンジュースを飲んで
オリジナルクオカード500円分と
愛媛みかん5kgをもらおう!

詳しくはこちらまで★

株式会社 えひめ飲料 <https://pom50th.com>

ジュースを飲んで復興支援!

えひめ飲料
西日本豪雨災害の
復興支援



湯気がほかほかのときも、
夢がほかほかのときも、
おいしいごはんであること。

空腹も忘れて、好きなことに没頭する。
食べる間も惜しんで、やりたいことに打ち込む。

夢に向かって進む、あなたのために。

私たちは、炊きたての時だけではなく、
さめでもおいしいお米を、届けたいと思いました。

どこまでも、がんばるあなたを
どこまでもおいしく待てるように。

愛媛に新しく美味しい
お米が産まりました。

美しくつよく 華やかなお米
ひめの凜
HIME NO RIN
2019年 秋 新登場

- 炊きたても、さめても、おいしい。
愛媛の新しいお米、ひめの凜。
1. 大粒で透き通るような美しさ
 2. 華やかな香り、しっかりとした噛みごたえ
 3. 口の中にすっと広がる上品な甘み
 4. 炊きあがりツヤツヤ、冷めても美味しい
 5. 夏の暑さに強く、たくさん収穫できる

愛媛県米麦振興協会 / JA全農えひめ

〒790-8555 愛媛県松山市南堀端町2番地3 Tel.089-948-5411

あなたの人生で支えられた1曲を
リクエストしてください
✉link@joeufm.com

JA全農えひめPresents
Support Music

JA全農えひめ協賛FMラジオコーナー
FM愛媛
毎週月曜日「Groovy Radio Caravan」内
14時10分頃～(5分間)



ehimenosyoku

「えひめの食」Instagram
Follow Me!



あぐり〜どはWEBでも読めます

<http://www.eh.zennoh.or.jp>